



フリーランスでクリエイティブの仕事に携わる青梅市千ヶ瀬町の井上正行さん(30)が、詩集「凍える言葉」を出版した。書名となった「凍える言葉」など20代半ばから書き溜めた42編を収録した。

第一詩集「凍える言葉」を出版

井上正行さん 青梅市



詩集を出版した井上井さん

思春期から青年期のカオスの体験を作品に

思春期に芥川龍之介に憧れ、よく読んで、同時に高校生の頃に憧れ、よく読んで、2000字ほどの夢を見た。その夢の内容

短編小説を20ほど書いた。夏目漱石や森鴎外などの作品を含め、文

容をインターネットで調べていくと、象徴主義を代表するフランス人画家、オディロン・ルドン(1840-

26歳の頃、蓼科の旅館の露天風呂に入っていた時、急に浮かんだのが「凍える言葉」だ

「凍える言葉」指はスラッシュ口に当てれば沈黙何かを指せば景色

「夢をモチーフに、思春期から青年期のカオスの時代の体験から生まれた作品。1つのフレーズでもいいから面白いと思ってもらえ

「指」

地域ジャーナルの70星霜

西多摩新聞の創刊は1950年。以来、70有余年の歴史を刻んだ。福生市に拠点を置き、当初は旬刊、現在は週刊で発行されているが、この実績は特筆されている。その理由を同社の柴崎 齊社長は次のように話す。

「先人たちが築いてくれた基盤のおかげだと思っている。地域の日常生活に根ざした紙面構成で、身近なニュースを読む習慣を定着

「最初は吉良さんの個人新聞だったかもしれない。それを会社組織にしたのが私の母方の祖父、田村利一。69〜81年まで都議会議員を3期連続で務め、83年に吉良さんか



先代の仕事と教え

「最初は吉良さんの個人新聞だったかもしれない。それを会社組織にしたのが私の母方の祖父、田村利一。69〜81年まで都議会議員を3期連続で務め、83年に吉良さんか

西多摩新聞社 柴崎 齊氏



洋服のタカキユーで修業34歳で西多摩新聞社に入社。まず営業を担当し、広告や宅配を手がけた。父からは顧客の手元まで届け、

ら経営を引き継いで法人化した。やがて父の新社長に就任している」

柴崎新氏は、千葉大学工学部から一橋大学の商学部に進学し、卒業後、石川島重工業(現IHI)に入社。祖父に

「私は明星大学・大学院を出て

も揺るがない。【岡村繁雄】

Advertisement for Taihara Hara灸治療院 (Taihara Hara Acupuncture Treatment Center) with details on services, location, and contact info.

Advertisement for a building rental facility (棟貸し施設) with details on location, amenities, and contact info.